

KURE KOSEN



National Institute of Technology (KOSEN), Kure College

呉高专だより



柔道部 男子団体 第60回全国高专体育大会出場



高专 GCON2025 三菱電機エンジニアリング賞
MECA女養成プロジェクト



第60回全国高专体育大会 優勝
テニス部 女子団体 中国地区合同チーム

目次

●校長あいさつ	2
Realize Your Dream!	
●役職員あいさつ	3
未来を切り拓く皆さんへ (後援会会長 土岐 伸治)	
呉高专を紹介する代表的なルート (副校長 間瀬 実郎)	
教務主事 1 年目	4
(教務主事 河村 進一)	
学生主事 1 年目を終えて	
(学生主事 佐賀野 健)	
寮生会の目的	
(寮務主事 黒川 岳司)	
専攻科の近況とこれから	
(専攻科長 大和 義昭)	
●卒業生・修了生へ	
機械工学科	
機械工学科 第 5 学年 卒業おめでとうございます (担任 野波 諒太)	
電気情報工学科	
ご卒業おめでとうございます (担任 横瀬 義雄)	
環境都市工学科	
環境都市工学科 5 年の皆さん ご卒業おめでとうございます (担任 木村 善一郎)	
建築学科	
ご卒業おめでとうございます (担任 岩城 考信)	
専攻科	
専門を越えて学び続けるということ —専攻科修了生へのメッセージ— (専攻科長補 井上 浩孝)	
●進路速報 (2026 年 2 月現在)	10
●部活動の成果、受賞実績	11

呉高专と保護者をつなぐ情報紙

85 号

2026.3



Realize Your Dream!

校長 餘利野 直人

呉高専に赴任した4年前、本校のキャッチフレーズである表題の言葉に共感を覚え、以来繰り返し使ってきました。この言葉で皆さんを励ましてきたつもりで、実は私自身が勇気づけられ背中を押されてきたように思います。

赴任当時は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、誰もがマスクで顔を覆い、会話も控え、窮屈な思いで生活していた時期でした。黙食の励行、会話の制限、行事の縮小や取り止めなどコロナ対策が最優先に位置付けられ、人間関係の構築や能力育成の様々な機会が失われていく深刻な状況でした。沈滞した風潮を少しでも変えたいという思いを込め、久しぶりに本来の形態に戻して実施した体育祭で、皆さんが「自分たちは今までこんな経験ができなかった。だからこそ新入生には思い切り楽しんでほしい」と、真剣に語っていた言葉が印象に残っています。コロナ禍にあっても、仲間と協力しながら自分達の道を切り開いていく皆さんの姿を頼もしく思いました。

呉高専では、運動部の各種スポーツ大会やロボコン、プレコン、デザコンなど様々なコンテスト、高専祭での展示・発表、球技大会、駅伝大会など、実に多くのイベントがあります。さらに授業においてもインキュベーションワークといった、学年や学科横断型の小グループ編成によるプロジェクト指向の取り組みがあります。皆さんはここでしか経験できないこれらの活動を通して様々な大事な経験を積まれました。そして、自分の好きなことや得意なことに一生懸命取り組み、素晴らしい成果を発揮されてきたと思います。皆さんが目を輝かせて好きな事に取り組む姿に、私はその都度感銘を受けていました。

これから皆さんは先の読みにくい時代の中で、様々な課題に取り組んでいくことになると思います。特に最近のAI技術の進展と社会への浸透は予想を超えるものがあります。AI応用は私自身の研究でも長年取り扱ってきましたが、最近の性能の向上は著しく、既に社会や個人の活動の中に入り込み、人間生活そのものが急速に変化しています。将来のある時点で過去を振り返ったとき、いまの状況は近代における産業革命のような歴史的な変革期に位置付けられるかもしれません。事務系の仕事では大幅な効率化の実例も出始め、技術者の仕事も遠からぬ将来、型にはまった技術計算や設計、手間暇のかかる作業などはAIが担うと予想されます。

このような状況に対応して、令和9年度からは電気情報工学科を電気知能情報工学科に改組するとともに、全ての学科で最新のAI応用・情報教育を充実させ、情報棟の新設と最先端設備を導入する予定です。もちろん、従来の技術分野・産業分野を重視したそれぞれの学科でのこれまでの教育内容も重要です。ですので従来のものを残しながら新たな技術を取り入れることが肝要であり、呉高専の改組はこの考え方にに基づき実施する予定です。結局のところ技術者は最新技術に対応するため、生涯勉強し続けることになります。だからこそ皆さんには卒業後も、楽しみながら勉強を続けてほしいと思います。広島大学との連携も定着し、昨年は3名が大学院に進学、今年は8名が合格、共同研究16件が全学科で実施される状況となりました。これまでも卒業生の半数弱が進学していましたが、さらに進学の実選択肢が広がりました。就職も学生1名に対し30倍以上の求人があり、大学からも企業からも人財を求められる嬉しい状況が続いています。また新たに設立した呉高専コンソーシアムでも呉市やくれ産業振興センターと新たな取り組みが始まります。このような様々な取り組みがあって、少子化の中で呉高専の志願倍率は上昇してきています。来年度に向けては広島商船高専と連携し、高専を志望する受験生に対しメリットが出る連携入試の計画も進行中です。今年度は文科副大臣をはじめ文科省などからの視察が多々あり、呉高専の存在感が向上していると実感しています。呉高専は、今後も益々発展していくと確信しています。

昨今は世界情勢が不安定さを増し、分断や格差も拡大しています。さらに自然災害もあります。また前述のようにAIや情報技術の進展が一段と加速し、本当に先の読めない不確実な世の中になっています。卒業する皆さんも少なからず不安があるのではないかと思います。

「Realize Your Dream!」改めて皆さんにエールを送りたいと思います。不確定な先の読めない時代だからこそ、忘れないでほしい言葉です。皆さんは好きなこと、得意なことに対して夢中になれる素質を持っているので、楽しいと思えることを伸ばしてほしいと思います。工学の課題解決における重要部分では、AIでは抱えない技術者の力量が発揮され、技術者間の協力や協調が益々重要となります。皆さんは多くの活動やイベントを通して既に協力や協調の方法そして高専生ならではの実践力を身につけています。これからは皆さんのアイデアや実行力が何よりも重要です。皆さんはそれぞれの分野で、今後は、変化の激しい時代を楽しみながら、本校のキャッチフレーズを思い出し、時代を切り開いてほしいと思います。卒業・修了おめでとうございます。後援会、同窓会をはじめ、ご関係の皆様には心より御礼申し上げます。

役職員あいさつ



未来を切り拓く皆さんへ

後援会会長 土岐 伸治

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了、誠におめでとうございます。後援会を代表し、皆さんの努力と成長に心から敬意を表し、お祝い申し上げます。

いま私たちが生きる社会は、先行きが読みづらく変化の激しい「VUCA時代」と呼ばれています。技術革新は加速度的に進み、特にAIの進化は、私たちの生活や産業構造を根本から変えつつあります。AIは単なる便利な道具にとどまらず、学び方、働き方、さらには社会の意思決定の在り方にまで影響を及ぼし始めています。これまで「正解」とされてきたものが、数年後には通用しなくなることも珍しくありません。皆さんがこれから向き合う世界は、これまで以上に変化が速く、挑戦の連続かもしれません。しかし、その変化を恐れる必要はありません。むしろ変化を受け止め、自ら学び続ける姿勢こそが、未来を切り拓く最も確かな力になります。呉高専での学び、経験が培った探究心、ものづくりへの情熱、仲間と協力して課題を乗り越えてきた経験は、まさにこのVUCA時代を生き抜くための大きな武器となるはずです。

そしてどうか忘れないでください。今日という日は二度と訪れない“一期一会”の瞬間です。未来は不安よりも、たのしさと満ちています。ときには雨のような困難に出会うこともありますが、その先にはそっと虹が差すように、必ず光が待っています。自分の力で未来をつくると決めたとき、その道は確かに明るく開けていきます。

卒業生・修了生の皆さんには、これまで支えてくれた人々への感謝を胸に、自分らしい未来を切り拓いてほしいと思います。皆さんの門出が希望に満ちたものでありますよう、心よりお祈り申し上げます。



呉高専を紹介する代表的なルート

副校長 間瀬 実郎

今年度より副校長を務めております間瀬です。日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

呉高専では、令和5年度に教育研究環境の充実を目的として、VRショールームおよび情報交流室を新たに整備いたしました。VRショールームでは、コンピュータ上で設計した構造物や機器の挙動を事前に解析できるCAEソフト「アンシス」を活用し、JAXAや広島大学との共同研究を実施しております。教員や学生たちは最先端の解析技術を使いながら、理論と実践を往還する高度な学習・研究に取り組むことができます。

また、情報交流室には180度全身スキャナを導入し、3Dアバターを生成して「バーチャル呉高専」を体験できるシステムを構築しました。デジタル技術を活用した新しい学びの場として、創造性や発信力の向上にもつながっています。さらに、同年度にはインキュベーションスクエアの設備も増強され、学生のスタートアップ活動やアントレプレナーシップ教育を力強く支援する体制が整いました。

これらの施設は本校の先進的な教育研究を象徴する取り組みとして外部からも高い関心を集めており、令和7年4月15日には文部科学審議官、6月4日には文部科学省高等教育局専門教育課長、7月24日には文部科学副大臣、さらに令和8年1月20日には府民クラブ京都府議会議員団の皆様にご視察いただきました。見学された方々からは、「高専教育の未来像を具体的に示す、極めて先進的で実践的な学習環境である」との高い評価を頂戴しております。今後も、地域と連携しながら、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。

役職員あいさつ



教務主事1年目

教務主事 河村 進一

令和7年4月から教務主事となり、学生への教育活動や入試関連の業務を担当することになりました。呉高専の教育がさらに良くなるよう、尽力したいと思います。よろしくお願いします。

今年度は情報関連で大きな動きがあり、6月に大学・高専機能強化支援事業が採択されました。令和9年度の電気情報工学科から電気知能情報工学科（仮称）への改組に向けて準備中です。また、8月には数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）が全学科で認定され、AI活用を含めた情報教育への全学科への展開を進めているところです。

授業に関連して、今年度は新型コロナの影響は少なくなってきたものの、インフルエンザによる欠席が多い年でした。特に高専祭後には全学生の2割に迫る人数が体調不良となり、臨時休校の措置をとることになり、その後も例年と比較して多い傾向が続いています。

入試関連では、令和7年度まで志願者の減少傾向がありましたが、令和8年度の入試では少し持ち直しました。なお、令和9年度に向けて近々新しい入試制度について発表予定です。



学生主事1年目を終えて

学生主事 佐賀野 健

令和7年度もまもなく終わりを迎えようとしています。一年間を振り返ると、学生みなさんが授業やクラブ活動、インキュ活動などに積極的に取り組み、それぞれに活躍してくれたことを、とても嬉しく思っています。私も自分が専門としているスポーツだけではなく、学生主事としていろいろな活動を見ることができ、本当に楽しませてもらいました。

保護者の皆様には、学生の毎日を温かく支えてくださり、心より感謝申し上げます。学校での学びや生活がより充実したものになるよう、家庭と学校が一緒に見守ることの大切さ、また難しさをあらためて感じた一年でした。

もうすぐ進級・進学・就職を迎える学生たちは、新しい環境への期待と不安の入り混じる時期となります。これまで積み重ねてきた経験は、きっとこれからの大きな力になってくれることでしょう。私も学生たちの頑張りを応援するとともに、丁寧にサポートしていければと思います。



寮生会の目的

寮務主事 黒川 岳司

嶺陽寮には、寮生全員をもって組織する「寮生会」があります。会則には、その目的として「寮生相互の日常生活上の共同の問題を協力して処理し、自主的に律することによって、集団生活における責任と義務を自覚し自治能力の向上に努める。」と記されています。

今年度もやはり大小様々なトラブルが起きました。ルール違反をした寮生に対しては指導が必要ですが、ルール違反やマナー違反を減らす方法は減点を課すだけではありません。例えば、週番が補食室のごみ捨てを忘れて減点が付くのも、そもそもここのごみ箱を無くしてしまえば問題解決です。集団生活はそんな単純ではないことは承知しています。だからこそ高専生の知恵の出どころです。

寮生一人ひとりが、日常生活でのちょっとした問題を自分事、自分たち事として考えることが、寮の自治能力を向上の第一歩かと思います。役員やライフマスターの意識も高まっています。来年度は、寮生会つまり寮生全員で協力し、調和のある楽しく居心地の良い寮に成長させていってほしいです。期待しています！



専攻科の近況とこれから

専攻科長 大和 義昭

私は今年度から専攻科長を務めております。

本校の専攻科は、定員が本科1学年定員の25%に当たる40名と多いのが特徴です（殆ど他高専では本科定員の10%）。平成28年度に“他分野融合複合”と“7年間一貫教育”を標榜して改組し“プロジェクトデザイン工学専攻”となって今年度で10年目でした。

専攻科修了後の進学希望は年々増えており、今年度は6割近い修了生が大学院に進学します。3年目となった広島大学・呉高専連携大学院進学制度は更に発展し、今年度は9人が広島大学大学院に進学します。この制度は本科学生に浸透しており、広島大学大学院への進学を見据えて専攻科を希望する学生が増えています。今年度から本格的に始まった“呉高専大学連携アンバサダー”による本科学生への情報提供の効果が非常に大きいです。

11年目の来年度は29人の新入生を迎えます。課題は多いですが、次の10年での更なる発展のための1年目にしたいと意気込んでおります。

機械工学科



機械工学科 第5学年 卒業おめでとうございます

機械工学科5年担任 野波 諒太

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。謹んでお祝い申し上げます。ご家族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。担任として皆さんの成長を間近で見られたことは、私にとって大きな喜びでした。この5年間、皆さんは行事や授業、実習に取り組み、特別見学旅行でも多くの刺激を受けながら、少しずつ視野と力を広げてきました。振り返れば、特別な出来事だけでなく、日々の積み重ねの中に確かな成長がありました。分からないことを放置せずに調べ、必要なら周囲に相談し、最後は自分で決めてやり切るその姿勢が、卒業後の皆さんを支える力になると思います。

私は4年次から担任を担当し、「一人ひとりが納得して次の進路へ進むこと」を目標に、面談と情報共有、準備の段取りを大切にしてきました。その結果、進学25名（専攻科10名、大学・大学院15名）、就職17名となり、多くの皆さんが第一志望に近い進路を実現しています。担任・進路指導ともに初めてであったため、うまく支援できなかった面もあったと反省していますが、皆さんが自身の力で努力と決断をし、進路を決めたことを、担任として誇りに思います。

春から環境が変われば、求められる基準もスピードも変わります。最初は戸惑う場面もあるでしょう。そんなときは、①目的を言葉にする、②相談できる相手を確保する。この2つを意識してください。信頼は、約束を守る、報告を早くする、分からないことを放置しない、といった基本の積み重ねでつくられます。

同窓のつながりは、年を重ねるほど価値が増します。母校は皆さんの原点であり、いつでも帰ってこられる場所です。皆さんの健康と今後の活躍を心より願っています。

電気情報工学科



ご卒業おめでとうございます

電気情報工学科5年担任 横瀬 義雄

担任としての2年間でしたが、この年になっても多くのことを経験させていただきました。卒業する皆さんも、この5年間でさまざまな経験を積んできたことと思います。就職する人も進学する人も、本当におめでとうございます。

このクラスの入学時の印象は、1～2年生の授業を担当していなかったため、時々見かける程度でしたが、真面目でおとなしい雰囲気だ感じていました。3年生の授業や実験を担当するようになってからも、また4年生から担任になってからも、その印象は変わりませんでした。これまでのクラス以上に、放課後に勉強会を開いたり、和やかに話し合ったりする姿が見られたのも印象的でした。また、クラス役員や体育祭・高専祭・球技大会のメンバーも、他のクラスではなかなか決まらないことが多い中、このクラスは短時間で決まることが多く、それも特徴の一つでした。

4年生の特別見学旅行では、北海道地方で発電所などを見学しました。これまで引率した関西地区や関東地区、グアム、台湾とは異なり、北海道は新鮮に感じられました。広大な北海道を訪れましたが、コロナ禍以降は2泊3日に短縮されたため、やや慌ただしい日程でもありました。見学旅行の写真を掲載したかったのですが、班別行動が中心で集合写真がなかったため、学科棟前で撮影した写真を載せています。皆さんは普段着で写っています。

進路についてですが、これまで私が担当した卒業生のクラスでは、およそ6割が就職、4割が進学という割合がほとんどでした。近年、一度だけその割合が逆転したことはありましたが、それでも進学がやや多い程度でした。ところが、今年のクラスは39名中10名が就職、29名が進学と、これまでの傾向とは大きく異なる結果となりました。コロナ禍の影響も多少あったかもしれませんが、さまざまな要因が重なった結果だと思います。そのため、5年生の担任として3月から7月にかけては、ほぼ毎日のように大学や専攻科への調査書や推薦書を作成していました。進路指導に多くの時間を費やしましたが、就職希望の10名は、全員が第一志望から内定をいただくことができました。進学についても、半数以上が第一志望に合格し、その他の多くの学生も滑り止めではなく第二志望・第三志望に合格しました。クラス全員の進路が早い段階で決まったことを、大変うれしく思っています。

環境都市工学科



環境都市工学科5年の皆さん、ご卒業おめでとうございます

環境都市工学科5年担任 木村 善一郎

この学年を振り返ると、最初から何もかも順調だった、という印象では正直ありません。担任として、同じことを何度も伝える場面もありましたし、生活面や学習面で気になることも少なくありませんでした。私自身、もどかしさを感じたこともあります。それでも、皆さんはそれぞれの進路を決め、卒業までたどり着きました。最後まで来たことは簡単なことではありません。まずはそのことを、自分で認めてよいと思います。

これから皆さんが進む社会では、LLMの普及によって、学び方も仕事の進め方も大きく変わっていきます。実際、私自身も、LLMを使うようになってからは、以前のやり方にそのまま戻ることはもうないと感じています。ただし、こうした技術は、使えばそれだけで力がつく道具ではありません。AIはそれらしい答えを返してくれますが、その答えが正しいか、最後に判断して責任を持つのは人間です。

その意味で、高専で学んだ皆さんの強みはこれからも大きいと思います。手を動かして確かめること、うまくいかないときに原因を切り分けること。こうした力は、AIが広く使われる時代ほど価値が出ます。道具を使って前に進める側になってください。工業の尊さは、凡人が幸福になれることにあり、と私は思っています。工業・工学の仕事は、派手さよりも、誰かの生活を少しずつ良くして、人類の幸福の総和を増やす営みです。

就職する人は、ここから先が本当のスタートです。社会に出ると、時間を守ること、周囲と協力すること、報告・連絡・相談をすること——そうした基本が、そのまま信頼につながります。工業・工学の世界は、特別な一発よりも、当たり前のことを当たり前にやり切る力がものを言います。基本を丁寧に積み重ねてください。進学する人は、これからさらに専門性を深めていくことになります。進学先では、周囲のレベルや雰囲気の違いに戸惑うこともあると思いますが、遠慮しすぎず、自分から動いて学ぶ姿勢を大切にしてください。高専で身につけた実験・実習・レポートの経験は、必ず強みになります。

担任として皆さんと向き合う中で、私自身もいろいろなことを考えさせられました。楽な2年間ではありましたが、担任として過ごした時間には意味があったと思っています。次に会うときは、今より少し締まった顔になっていることを期待しています。卒業おめでとう。

建築学科



ご卒業おめでとうございます

建築学科5年担任 岩城 考信

5年間の学びを終え、皆さんは今、新たな入り口の前に立っています。高専の卒業とは、学生生活が終わった日であると同時に、新しい何かが始まる日でもあります。卒業証書を手し、希望に満ち溢れている人、ほっと一息ついている人、これからの進路に漠然とした不安を抱いている人もいるでしょう。そのどれもが自然な感情だと思います。門出とは、希望や達成感、そして未知への緊張が入り混じる瞬間なのだと思います。

在学中、皆さんは多くの「問い」と向き合ってきたはずです。講義で投げかけられた問い、製図や実験、研究の途中で立ち上がる問い、友人との関わりの中で生まれる問い。建築という分野は、単に正解を当てる学問ではありません。大切なのは、問いに対してどれだけ誠実に向き合えたかということです。立ち止まり、考え、仮説をつくり、また問い直す。その往復を自分の足で歩いた経験こそが、これからの人生で選択を下す際の確かな支えとなるはずです。

社会に出れば、早い答えが評価されがちです。しかし、急いで出した答えは、時に視野を狭めてしまいます。迷うこと、考え続けること、言葉にできない違和感を大切にすること。それらは判断の質を高めるために大切なことです。焦りを感じたときほど、自分がどんな「問い」を大切にしてきたのか、静かに思い返してみてください。

ただし、学びも仕事も、一人だけで完結するものではありません。助けを求める力、感謝を言葉にする力、異なる意見に耳を傾ける力は、専門知識と同じくらい重要です。誰かと協働するとき、相手を変えようとする前に、自分の前提を見つめ直してみる。その姿勢が、信頼と対話の土台をつくります。とりわけ、多くの人の力が重なり合って形づくられる建築の分野では、なおさら大切な姿勢です。

皆さんが歩む道は一つではありません。寄り道をしてかまいませんし、立ち止まる時期があってもいい。就職後に大学や大学院で学び直すこと、転職によって他分野に舵を切ることも、すべて前に進むための選択です。どうか、自分の問いを手放さず、学び続けてください。卒業とはゴールではなく、学び方を身につけた人に与えられる新たなスタートラインなのです。

皆さん一人ひとりのこれからの歩みが、豊かで実り多いものとなることを、心より願っています。

専攻科



専門を越えて学び続けるということ －専攻科修了生へのメッセージ－

専攻科長補 井上 浩孝

このたびは呉工業高等専門学校専攻科の修了、誠におめでとうございます。皆さまがこれまで積み重ねてこられた努力と研鑽に対し心より敬意を表します。専攻科での2年間は専門知識を深めると同時に自ら課題を見だし、試行錯誤を重ねながら解決へと導く力を養う極めて貴重な時間であったことと思います。その一つ一つの経験は今後の人生において確かな礎となるはずです。

本校の専攻科は機械・電気・環境・建築という異なる専門分野を背景に持つ学生が共に学ぶ学際的な教育環境を大きな特色としています。PDゼミをはじめとする授業や研究活動を通じて、皆さまは自分とは異なる分野の研究内容や視点に触れ、多角的に物事を捉える力を身につけてきたことでしょう。このような経験は専門性を深めるだけでなく、他者の立場や価値観を理解し協働する姿勢を育てる上で非常に重要です。

近年、生成AIをはじめとする情報技術は目覚ましい速度で進歩し、研究や開発、さらには社会全体の在り方に大きな影響を与えています。生成AIは設計支援や解析、文章生成など多くの場面で高い利便性をもたらす一方で、誤った情報の生成、責任の所在の不明確さ、知的財産やプライバシーの問題など新たな倫理的課題も生み出しています。このような時代において、技術者や研究者には技術を「使えるかどうか」だけでなく、「どのように使うべきか」「社会にどのような影響を及ぼすのか」を常に考える姿勢が強く求められています。

研究活動においても生成AIを含む新技術の活用は今後ますます一般的になるでしょう。その際、結果の正確性や再現性を担保することはもちろん、データの取り扱い、判断の根拠、成果の説明責任といった点に対してこれまで以上に高い倫理観が必要となります。専攻科での研究を通じて、皆さまが真摯に課題と向き合い、試行錯誤を重ねてきた経験はこうした研究倫理・技術者倫理の基礎を身につける上で非常に重要な学びであったはずです。

これから社会に出て直面する課題は単一の専門分野だけで解決できるものではなく、生成AIを含む多様な技術と人間の判断が複雑に関わるものとなるでしょう。そのような場面において、自身の専門性に加え、他分野への関心とともに技術が社会にもたらす影響を考え続ける姿勢が皆さまの大きな力となります。

どうか学び続ける姿勢を忘れず、専攻科で培った知識、学際的な視点、そして倫理観を糧として、未来へ力強く歩んでください。皆さまが技術者・研究者として、生成AIを含む先端技術と誠実に向き合い、社会に信頼される存在として活躍されることを心より祈念いたします。

進路速報（2026年2月現在）

■本科卒業生 就職・進学先予定先一覧 本科就職先

企業等名	学科	機械 工学科	電気情報 工学科	環境都市 工学科	建築学科
広島県庁				○	
(株)HIVEC		○			
IHI運搬機械(株)		○			
JFEプラントエンジニア(株)			○		
(株)JR西日本レールテック				○	
NTTインフラネット(株)				○	
(株)U-NEXTHOLDINGS		○			
(株)あい設計					○
アイリスオーヤマ(株)		○			
アブライドマテリアルズジャパン(株)			○		
(株)安藤ハザマ				○	
(株)イリア					○
鹿島建設(株)				○	○
川田工業(株)				○	
関西電力(株)				○	
関西保温工業(株)				○	
極東興和(株)				○	
(株)熊谷組					○
小松開発工業(株)			○		
五洋建設(株)				○	○
三建設備工業(株)					○
ショーボンド建設(株)				○	
ジョンソンコントロールズ(株)					○
創建ホーム(株)					○
(株)ダイスネクスト					○
大成建設(株)					○
中国電力(株)				○	
中国電力ネットワーク(株)			○		
中部電力(株)		○		○	
電源開発(株)		○		○	
東海旅客鉄道(株)		○		○	
東急電鉄(株)					○
東京ガスネットワーク(株)				○	
東京水道(株)				○	
東京電力ホールディングス(株)				○	
東レ(株)		○			
(株)デンソーエレクトロニクス			○		
(株)ニコン		○			
西日本高速道路(株)					○
西日本旅客鉄道(株)			○		○
日鉄エンジニアリング(株)					○
日本貨物鉄道(株)			○		
日本精工(株)		○			
ニプロ(株)		○			
日本ERI(株)					○
(株)長谷工コーポレーション					○
パナソニック(株)		○			
パナソニックエンターテインメント & コミュニケーション(株)		○			
(株)フジタ					○
(株)フソウ				○	
(株)扶桑ゴム産業				○	
マツダ(株)		○	○		
(株)マツダE&T			○		
三菱重工業(株)		○			
三菱重工マシナリーテクノロジー(株)				○	
三菱地所コミュニティ(株)					○
三菱地所レジデンス(株)					○
山崎建設(株)				○	
ローツェ(株)		○			
若築建設(株)				○	

本科進学先

学校名	学科	機械 工学科	電気情報 工学科	環境都市 工学科	建築学科
呉工業高等専門学校専攻科		○	○	○	○
北海道大学			○		
東北大学					○
筑波大学			○		
千葉大学					○
東京農工大学		○			
横浜国立大学					○
長岡技術科学大学				○	
山梨大学			○		
信州大学				○	
金沢大学		○			
豊橋技術科学大学		○	○		○
京都工芸繊維大学		○	○		
大阪大学			○		
神戸大学		○			
奈良女子大学			○		
島根大学		○			
岡山大学		○			
広島大学		○	○	○	○
山口大学					○
香川大学			○		
愛媛大学		○	○		
高知大学			○		
九州大学			○	○	
九州工業大学				○	
熊本大学			○	○	
滋賀県立大学					○
北九州市立大学		○			○
早稲田大学					○
関西大学				○	
広島工業大学					○

■専攻科修了生 就職・進学先予定先一覧

企業等名	学校名
荒谷建設コンサルタント(株)	北海道大学大学院
鹿島建設(株)	東北大学大学院
関西電力(株)	筑波大学大学院
キャタピラージャパン合同会社	長岡技術科学大学大学院
極東興和(株)	豊橋技術科学大学大学院
サントリーホールディングス(株)	奈良先端科学技術大学大学院
(株)タケウチ建設	広島大学大学院
中外テクノス(株)	熊本大学大学院
西日本旅客鉄道(株)	
(株)広島メタル&マシナリー	
(株)プランテック	
(株)マイナビ	

-部活動の成果・受賞実績-

第61回中国地区高等専門学校体育大会

(団体)	
種目	順位
陸上競技 (男子)	2位
陸上競技 (女子)	2位
バレーボール (男子)	5位
バレーボール (女子)	5位
柔道	2位
硬式野球	2位
テニス (男子)	2位
バスケットボール (男子)	3位
バスケットボール (女子)	4位
剣道 (男子)	6位
剣道 (女子)	3位
サッカー	Bバート優勝
バドミントン (男子)	5位
バドミントン (女子)	5位
ソフトテニス (男子)	優勝
ソフトテニス (女子)	2位
卓球 (男子)	7位
水泳 (男子)	7位
水泳 (女子)	1位
ハンドボール	2位

(個人)	
種目・順位	所属・氏名
陸上競技 (男子)	
100m 10位	M4 垣内 楓牙
100m 11位	C1 新谷 功揮
200m 6位	E3 清水 璃空
200m 9位	A5 中川 皓晴
400m 7位	C4 森宗 汰朗
400m 14位	C1 花倉 巧真
800m 1位	E4 宮原 寛弥
1500m 3位	M2 吉田 悠矢
1500m 6位	C5 秋田 隆之介
5000m 2位	A1 瀧松 栄汰
5000m 7位	E5 近藤 俊輔
110mH 2位	A4 岸 大翔
3000mSC 4位	M4 武田 康志
4x100mR (ランキング種目) 5位	M4 垣内, E3 清水, A5 中川, A5 阿地方
4x400mR (ランキング種目) 3位	C4 森宗, E5 近藤, A5 阿地方, E4 宮原, C5 阿良田, E3 清水, A1 徳重
走高跳び 2位	M3 齊藤 響介
走幅跳び 8位	M2 吉田 宗矢
走幅跳び 10位	E1 古川 七緒
三段跳び 5位	E3 清水 璃空
三段跳び 8位	M3 齊藤 響介
砲丸投げ 4位	M5 藤代 堅斗
砲丸投げ 5位	A5 花房 拓磨
円盤投げ 3位	M3 井口 泰地
やり投げ 1位	M3 井口 泰地
やり投げ 7位	M3 西岡 丈
OP1500m 3位	C2 鎌田 聖矢
陸上競技 (女子)	
100m 1位	A1 鈴木 えま
100m 8位	M1 藤原 楓
800m 1位	A4 齋藤 和
800m 5位	M1 藤原 楓
3000m 1位	M1 下茂 あかね
3000m 7位	M2 多田 実央
走幅跳び 1位	A1 鈴木 えま
走幅跳び 7位	M1 寺岡 杏珠
砲丸投げ 3位	A4 齋藤 和
砲丸投げ 6位	M1 寺岡 杏珠
4x100mR (ランキング種目) 3位	M2 多田, M1 下茂, A4 齋藤, A1 鈴木, M1 寺岡, M1 藤原
走高跳び 1位	A1 鈴木 えま

(個人)	
種目・順位	所属・氏名
柔道	
男子66kg級 3位	M3 村上 源
男子66kg級 4位	E2 中原 悠成
男子73kg級 4位	C3 末國 悠天
男子無差別級 2位	M5 村岡 寛士
女子52kg級 3位	M3 貝川 紗裕
女子52kg級 4位	A3 蔵本 なつみ
女子63kg級 2位	A1 清水 優奈
テニス	
男子ダブルス 1位	E2 岡本, C3 宮岡
女子ダブルス 3位	C2 山田, A2 新名
女子シングルス 3位	C2 山田 愛子
女子シングルス 3位	C2 新名 佳南
バドミントン	
男子ダブルス 3位	C3 瀬尾, C3 香川
女子ダブルス 3位	A2 仲崎, A3 大下
ソフトテニス	
男子ダブルス 1位	M3 松岡, E4 早井
男子ダブルス 2位	M5 岡本, M1 新谷
男子ダブルス 3位	M2 山根, M4 和泉
水泳 (男子)	
背泳ぎ100m 6位	E4 風藤 龍
背泳ぎ200m 3位	E4 風藤 龍
平泳ぎ100m 6位	M1 尺田 恒太郎
平泳ぎ200m 6位	M1 尺田 恒太郎
バタフライ100m 1位	C4 大野 智己
バタフライ200m 1位	C4 大野 智己
水泳 (女子)	
自由形50m 1位	A2 川畑 美津生
自由形50m 3位	C5 三浦 琴葉
自由形100m 1位	A2 川畑 美津生
背泳ぎ100m 2位	A4 金満 二葉
バタフライ100m 2位	A1 水上 凜
個人メドレー200m 1位	A4 金満 二葉
個人メドレー200m 2位	A1 水上 凜
フリーリレー4x50m 1位	A4 金満, A1 水上, C5 三浦, A2 川畑
メドレーリレー4x50m 1位	A4 金満, A1 水上, A2 川畑, C5 三浦

赤字は全国大会出場

第60回全国高等専門学校体育大会

(団体)	
種目	順位
柔道 (男子)	予選敗退
テニス (女子・中国地区合同チーム)	優勝
サッカー	3位
ソフトテニス (男子)	3位
ハンドボール	ベスト8

(個人)	
種目・順位	所属・氏名
陸上競技 (男子)	
800m 決勝3位	E4 宮原 寛弥
1500m 決勝16位	M2 吉田 悠矢
5000m 決勝13位	A1 瀧松 栄汰
110mH 予選3組6位	A4 岸 大翔
走高跳び 決勝記録なし	M3 齊藤 響介
円盤投げ 決勝20位	M3 井口 泰地
やり投げ 決勝12位	M3 井口 泰地
4x400mR 決勝1組3位	C4 森宗, C5 阿良田, E5 近藤, A5 阿地方, E3 清水, A1 徳重
陸上競技 (女子)	
100m 決勝1位	A1 鈴木 えま
800m 決勝総合10位	A4 齋藤 和
3000m 決勝5位	M1 下茂 あかね
4x100mR 決勝1組4位	M2 多田, M1 下茂, A4 齋藤, A1 鈴木, M1 寺岡, M1 藤原
走高跳び 決勝3位	A1 鈴木 えま
柔道	
男子無差別級 2回戦敗退	M5 村岡 寛士
女子52kg級 1回戦敗退	M3 貝川 紗裕
女子63kg級 3位	A1 清水 優奈

(個人)	
種目・順位	所属・氏名
テニス	
男子ダブルス 1回戦敗退	E2 岡本, C3 宮岡
ソフトテニス	
男子ダブルス 3回戦敗退	M3 松岡, E4 早井
男子ダブルス 2回戦敗退	M5 岡本, M1 新谷
男子ダブルス 1回戦敗退	M2 山根, M4 和泉
水泳 (男子)	
背泳ぎ200m 予選2組9位	E4 風藤 龍
バタフライ100m 決勝1位	C4 大野 智己
バタフライ200m 決勝1位	C4 大野 智己
水泳 (女子)	
自由形50m 決勝1位	A2 川畑 美津生
自由形100m 決勝1位	A2 川畑 美津生
背泳ぎ100m 決勝2位	A4 金満 二葉
バタフライ100m 決勝6位	A1 水上 凜
個人メドレー200m 決勝4位	A4 金満 二葉
個人メドレー200m 決勝8位	A1 水上 凜
フリーリレー4x50m 決勝2位	A4 金満, A1 水上, A2 川畑, C5 三浦
メドレーリレー4x50m 決勝2位	A4 金満, A1 水上, A2 川畑, C5 三浦

種目・順位	所属・氏名
第107回全国高等学校野球選手権 広島大会	
2回戦敗退 呉高専 2 - 10 呉港高校	
第68回中国高等学校ソフトテニス選手権大会	
男子個人ダブルス 初戦敗退	M2 山根, M3 松岡
第73回中国高等学校選手権水泳競技大会	
女子自由形50m 4位	A2 川畑 美津生
女子自由形100m 4位	A2 川畑 美津生
第32回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会	
男子団体 3位	
女子団体 2位	
男子個人30mダブル 2位	E2 中川 遥稀
女子個人50m・30m 3位	C5 仁井 杏莉
女子個人30mダブル 2位	C3 土井 萌々香
女子個人50m 1位	C5 仁井 杏莉

令和7年度中国地区高等専門学校文化連盟写真部合同合宿	
課題部門 最優秀賞	M5 松浦 想真
課題部門 優秀賞	C3 田中 彩笑理
自由部門 優秀賞	M5 松浦 想真
自由部門 優秀賞	M5 山本 航輝
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025 中国大会	
アイデア賞 全国大会出場	【Aチーム】 禁機
出場	【Bチーム】 下剋城
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025 全国大会	
2回戦敗退	【Aチーム】 禁機
第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	
競技部門 3名出場	E4 江島, E4 吉岡, E2 森田
第41回中国地区高等専門学校英語弁論大会	
プレゼンテーション部門 1位	E2 小原 優愛
プレゼンテーション部門 出場	A1 鈴木 えま
暗唱部門 出場	A4 山本 泰世
暗唱部門 出場	A1 森 みなみ
第18回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト	
シングる部門 3位	E2 小原 優愛
チーム部門 出場	A4 石井, A4 川本, A4 中尾
第22回全国高等専門学校デザインコンペティション2025 in 福井「織りなす」	
構造部門本選出場	A5 山本, A5 花房, A5 中川, A5 阿地方, C5 秋田
構造部門本選出場	A5 桑原, A5 小櫻, A4 栗栖, A4 栗原, C3 藤原, A3 田谷
第48回西中国地区高専音楽祭 (吹奏楽)	
吹奏楽部 出演	
第4回 高専GIRLS SDGs × Technology Contest (高専 GCON2025)	
三菱電機エンジニアリング賞	MECA女養成プロジェクト
第46回西中国地区高専音楽祭 (軽音楽)	
軽音楽部 出演	

大阪・関西万博の公式プログラム「EXPO 共鳴フェス」に出展 「電気を作る微生物でアート体験」



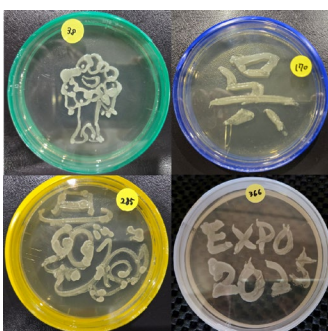
微生物アート体験の様子①



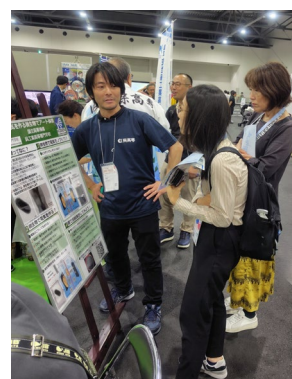
微生物アート体験の様子②



微生物アート体験の様子③



菌アート作品の例



微生物燃料電池、
微生物電気合成リアクターの展示

今年度開催された、「大阪・関西万博」では、呉高専からも出展・参加しました。その1つとして、「EXPO共鳴フェスー万博から描く未来社会の技術、デザインー」の公式プログラムにて、呉高専の企画が採択され、令和7年6月18日～19日の2日間でブース展示を行いました。

本プログラムは、高専生を中心に社会課題の解決策を世界に発信することを目的に、国内外から30の高専が集い、ロボットやエネルギー、食などをテーマにした研究成果を披露する「高専未来チャレンジ」コーナーのほか、「未来社会の技術、デザイン」をテーマとした企業や大学のブースを設置、ステージイベントなども開催するイベントです。

呉高専は、エネルギーの分野で「電気を作る微生物でアート体験」をテーマとし、微生物の可能性と親しみやすさを体感していただくことを目的に、以下の展示を行いました。

①微生物アート体験（メイン展示）

食品用酵母を用いて寒天シャーレに絵を描く体験型コーナーを実施しました。

用意した500枚のシャーレすべてを使用する盛況ぶりでした。

②微生物燃料電池（MFC）および微生物電気合成（MES）リアクターの展示

電気を「つくる」「食べる」微生物を紹介するため、MFCおよびMESの実機を展示しました。

そのほか、「大阪万博へビビビ！微生物電気音楽会」というタイトルでの微生物の発電メカニズムの展示、オーストラリア館での「未来を育むオーストラリアの教育」ワークショップなどにも参加し、万博という国際的な大きなイベントで、展示運営や来場者との対話を通じて様々なことを学ぶことができる貴重な経験となりました。